

荒川滋さんからの手紙

荒さんのコロナ禍の「ひとりごと」

コロナ禍の中、お変わりなくお過ごしでしょうか。私は、全くの引きこもりになりました。その中で「シュンボシオン」等に情報をいただき感謝しております。コロナワクチン接種も3回目を終わりました。後遺症はありません。コロナが一日も早く収束してくれますように…。

私たちフルトン男声合唱団も漸く3月9日から練習再開になりました。まだマスクは外せず、歌う実感には程遠いですが、それでもお互いに顔を合わせるだけでも幸いです。

□ ロシアのウクライナ侵攻のこと

戦争には、当然ながら歴史を含めて、双方の言い分があるにしましても、人智を集めて建設した社会を、核兵器使用をちらつかせ、爆撃で破壊し、人命を殺傷することなど、およそ人間のすることではありませんね。そして、その爆撃がウクライナの自作自演であるなどと吹聴する、まさに間違いじみた「オソロシア」の独裁者には、怒り心頭です。人命を最優先に、一日も早く即時停戦を望みます。

日本各地でも反戦の声が上がっています、すでに300万人を超えるウクライナの婦女子・子供・老人たちが隣国へ避難する様子を見るにつけても、世界中に抗議の輪を広げ、避難民の受け入れについて、もっともっと手を差し伸べるべきと思います。わが国をはじめ、各国とも相互理解のもと、外交努力を惜しんではなりませんね。今こそ「不戦不争」を心から叫びたいと思います。

□ 俳優の宝田明さん(87歳)他界

5年前の2017年に宮崎市で開催されました宝田座の公演「宝田明物語」に、私は市内のメンバー10名ほどと出演し、宝田さんの作品「私の願い」を宝田さんと一緒に歌いました。出演者中で77歳の私が最高齢者でしたので、当時、82歳の宝田さんから「お互いがんばろう！」と特に励ましの言葉をいただきました。

翌年3月、私は東京北区の事務所へお礼を兼ねて一人で訪れ、戦争体験や平和について、詳しくお聞きし、帰りには宝田さんが運転される車で、最寄りの駅まで送ってもらいました。心からご冥福をお祈りいたします。

□ 私の体調不良

ここ3ヶ月のリハビリでの診断は「首下がり症候群」です。最近、中身が無く軽いはずの頭が重く、歩行中に首が痛く、休憩が多くなり、長く歩けません。以前の3分の1の距離でしょうか。左の顎関節の奥に鈍痛が走ります。

父が脳卒中のため52歳で他界しましたので、これは脳内に原因あるに違いないと思ひまして、2月14日、脳神経外科で脳のMRIを受けました。脳内を詳しく診てもらいまして、おまけに最近、物忘れや記憶力の低下などがひどく、認知が劣っていることを告げて、「私の認知症は、もうステージ4でしょうか？」と聞きましたところ、次のような診断が下りました。

「詳しく診たが、脳血管には全く血腫も血栓もない。毛細血管にも異常はない。認知症を判断する海馬にも何の病変もない。」と、さらに加えて、「この様子では、あと20年から30年は生きるでしょう！」と、ドクターは笑みを浮かべ、ひとり合点気味で冗談全開でした。

異常があるはずとの思いに反して、予想外の結果を受けましたので、その後、3月3日には、頸椎(首)のMRIでした。痛みの原因は、「頸椎を支える筋肉が、加齢とともに弱くなること。」でした。これが、高じると、例の脊柱管狭窄症になるそうです。MRIの施療中、高音、激音と複雑な機械音を耳にしながら、私は練習中の歌を口ずさんでいました。首の痛みは合唱の演奏にも直に影響があります。

3月16日には、歯科医院で、左顎関節の痛みを診てもらいました。昨年、県立病院の口腔外科で右顎関節の治療を受けましたので、その関連です。

前立腺癌は、PSAの標準値が4.0以下ですが、現在、私は15です。主治医は「あなたの年齢なら、癌のひとつやふたつあってもいいだろう。このまま様子を見よう。」と言います。かつて私は、PSA値が100を超え、その時は即入院、治療でした。限りなく癌に近い状態でした。

腹部動脈瘤、前立腺癌、椎間板ヘルニアなどなど、次々に攻めてくる病気と向き合いながら、82歳のこの「おいぼれ」は、11月27日(日)に行われます予定の「フルトン男声合唱団創立55周年記念演奏会」のステージまで、なんとかして持ちこたえようと、ゆっくりと歩一歩、歩いてまいります。

◎ウクライナへ一日も早く「平和」と「安全」が訪れますように。

季節の変わり目にも気を付けられて、どうぞお大事にお過ごしください。

2022年3月31日

荒川 浩







<管理者よりひとこと>

宮崎の荒さんこと、フルトン男声合唱団の荒川滋さんからお手紙が届きました。「テゲテゲな内容をお送りして、申し訳ありません」と断りつきでしたが、いくつかの持病も抱えながら、それ以外は頗る健康で、検査データは私よりも良いのには少々驚きました。荒さんと私は年齢もすこし離れていますが、同じような病気を患った者同士、その辛さ不自由さはよく理解できます。

ところで、「テゲテゲ」とは、宮崎弁で「**適当な、なあなあ**」という意味のようです。「テゲ」の語源は、漢字の「大概」がなまったもので、「**だいたい、およそ**」という意味。宮崎県おなじみのフレーズ「**てげてげ運転**」は「**いいかげん運転**」のことで、宮崎県警では「**てげてげ運転追放**」というキャッチコピーを使っているそうです。ところで、意外にも、韓国語の「**되게(テゲ)**」も「**とても**」という意味らしいです。ただし、これはややくだけた言い方で、目上の人に使うのは好まれないようです。

【 荒川 滋 エッセイ 】

↓ Click here!

- | | | |
|---|---------------------------------|-------------|
|  | (E-119) 北越戊辰戦争戦没者所感 | 2018年12月28日 |
|  | (E-106) 「すみだ第九」プラスアルファ | 2016年3月19日 |
|  | (E-103) 戦後70年の節目に～東京ぶらりひとり歩き | 2015年11月14日 |
|  | (E-92) 20年ぶりの沖縄 | 2013年4月2日 |
|  | (E-72) 『荒さんのぶらりある記-その弐』万里の長城へ登る | 2008年11月6日 |
|  | (M-72) 心のオアシスを求めて『荒さんのぶらりある記』 | 2006年4月19日 |

Back

「なんやか」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る